

# 会 議 報 告

| 区 分   | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 名 | 令和7年度第2回こどものまち前橋有識者会議                                                                                                                                                                                                                               |
| 日 時   | 令和7年7月11日（金） 15：00～16：40                                                                                                                                                                                                                            |
| 場 所   | 前橋市保健センター4階 集団指導室                                                                                                                                                                                                                                   |
| 出 席 者 | <p>【委員】13名<br/> 森座長、田中職務代理者、守山委員、鳥島委員、岩崎委員、木暮委員、都丸委員、石川委員、高橋委員、本間委員、佐藤委員、栗田委員、大本委員</p> <p>【事務局】<br/> 望月こども未来部長<br/> こども政策課：佐藤課長、小暮副参事、齋藤副主幹、奈良主任、野村主任<br/> こども支援課：浜名課長<br/> こども施設課：山口課長、一木副参事<br/> 教育委員会事務局総務課：霜田課長補佐</p>                           |
| 欠 席 者 | 5名 田村委員、青木委員、戸所委員、横澤委員、中村委員                                                                                                                                                                                                                         |
| 傍 聴 者 | なし                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 議 題 等 | <p>○議題</p> <p>（1）これまでの取組概要<br/> （2）前橋市こども基本条例の素案について<br/> （3）（仮称）前橋市こども計画の骨子案について<br/> （4）こども意見聴取について</p>                                                                                                                                           |
| 結 果   | <p>（審議事項）</p> <p>○前橋市こども基本条例の素案について<br/> →前回会議以降、検討を行った結果による変更点や高校生ワークショップによる前文の作成などを報告し、素案に関するパブリックコメントの実施や今後のスケジュール等について承認を得た。</p> <p>○（仮称）前橋市こども計画の骨子案について<br/> →資料（案）のとおり進めることについて承認を得た。</p> <p>○こどもの意見聴取について<br/> →資料（案）のとおり進めることについて報告した。</p> |
| 内 容   | <p>1 開会（こども政策課）</p> <p>2 議題（進行：森座長）</p> <p>（1）これまでの取組概要</p> <p>・令和7年度第1回有識者会議（4月28日）以降、こども基本条例やこども</p>                                                                                                                                              |

計画策定に関する取組について説明した。

## （２）前橋市こども基本条例の素案について

- ・ 5月から6月にかけて実施した、条例前文を検討する高校生ワークショップ（全4回）について、その行程や高校生たちの意見などを含め報告した。
- ・ 第1回有識者会議での意見をふまえ見直しを行った内容や前回会議時点からの主な変更点などを説明した。  
→第9条の削除、第4条第3項にこどもの権利の理解と他者の権利の尊重についての規定の追加、第14条に市を含む大人の共通の役割を追加、附則に検討条項を追加。
- ・ 条例素案に係るパブリックコメントの実施に伴うその後の事務の流れや全体スケジュールについて説明した。パブリックコメントの結果公表は11月頃を予定している。

## （３）（仮称）前橋市こども計画の骨子案について

- ・ 前回の有識者会議で策定方針を承認いただいたが、今回はこども計画の骨子案について説明を行った。
- ・ 全体像としては、①総論、②各論、③資料編・別冊の3つから構成される。
- ・ 総論は、「こども計画について」「本市の現状」「本市が目指す姿、基本理念、基本目標」「計画の推進体制、進捗管理」での構成となり、それぞれに掲載される主な内容について説明した。
- ・ 「本市が目指す姿」では、こども・若者の願いとして、これまでに開催されたワークショップやアンケート調査などでのこども、若者の声も紹介していきたいと考えている。
- ・ 推進体制として、各関係者会議を中心に実施状況や成果等についての報告や評価を行うこと、PDCAサイクルにより進捗状況を管理し、状況により必要な改善を行っていくこと、事業実施状況や成果等は毎年公表をしていくこととする。
- ・ 各論は、施策の柱に紐づく各事業や取組部分となるが資料は例示であり今後、庁内各課へ照会をして、事業等の集約を行っていくものである。
- ・ 計画に位置付ける各事業は、事業実施計画、施設整備計画として別冊でまとめる予定。すでに今年度から始まっている第三期子ども・子育て支援事業計画も別冊扱いとなる。

## （４）こども意見聴取について

- ・ こどもの意見聴取への取組について背景を踏まえ、本市として市を挙げて取り組んでいくこととし、条例のなかに関連する規定を設けることや

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|           | <p>計画における施策の一つとして位置付けていくこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもの意見聴取の推進にあたり実施方法や普及方法などの検討を行い、こどもからの意見聴取が本市全体に広がり、根付いていくような方策をまとめ、制度化を図っていきたいと考えている。</li> <li>・ 国や県、本市の取組状況、現状などをふまえ、今後、こどもの意見聴取を推進していくために、庁内ワーキンググループを立ち上げ検討していくこととする。</li> </ul> <p><b>3 閉会（こども政策課）</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 主な意見、感想など | <p><b>（森座長）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条例素案に高校生の考えた前文を導入したことで、こどもたちがきちんと話し合ったうえで私たち大人に向けてメッセージを出してくれたものだと、その思いを受け止めてもらえるような前文になったと思う。</li> </ul> <p>この有識者会議でも話し合った内容が反映され示されていると感じた。この先もいい形で前に進んでいってほしいと思う。</p> <p><b>（栗田委員）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条例素案については、有識者会議でこれまで出させていただいた意見を、市において丁寧調整したうえでまとめていただいたと感じる。高校生ワークショップでは、こどもたちの意見が非常によくまとめられていて、それぞれの思いがそのまま文章化されており、大人が考えたのでは思い浮かばない表現なども記されていて素敵だなと思った。</li> </ul> <p>また、こども向けの素案については、条例に記載されている骨子をわかりやすく平易な言葉で書いていただいているところが良いと思った。</p> <p><b>（森座長）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こども計画資料の説明において、各論にあげている項目（事業）は今後調査を行うとのことだが、どのようなものか補足説明をお願いしたい。</li> </ul> <p>また、今後それらを見せていただく機会があるということでよいか。</p> <p><b>（こども政策課）</b></p> <p>→各論に載せていく事業については、本市が実施している様々な事業があると思うので、庁内に照会（調査）をして事業を報告していただき、まとめ上げていくという流れで進めていく予定である。まとめられたものは、次回以降の会議において示していくことになると思う。計画資料最後のページにある全体スケジュールのとおり、今後、10月頃に検討会議の開催と予定されているが、そういったところで確認していただくことになる。</p> |

**(森座長)**

- ・ こどもの意見聴取について、意見をもらう対象のこどものうち、声を聴かれにくいこどもの中に、小さいこどもからの意見というものがあるが、この場合、こども自身だけでなくその代弁者として保護者が考えられると思うが、こどもと身近にいる保育関連施設の先生方などからも代弁者として聴いてもらうのも良いと思う。

**(大本委員)**

- ・ 条例素案の前文を読んで、生徒たちの言葉がそのまま反映され素晴らしいものだった。大人に対してまっすぐな気持ちなどを、大人では書けない言葉で書かれたものが条例に反映されており、こどもたちにとっても良い経験だった。
- ・ こども計画の各論（基本目標３）に関するところは、我々事業者がこどもたちと関わってくる部分だと思いながら説明を聞いていた。事業者としてこどもたち（中学生）と関わる事業なども実施しているので、そういった取組も反映させてもらえると良いと感じた。

**(都丸委員)**

- ・ こども計画の検討にあたってこどもの意見を取り入れてほしいと思っていたが、計画の名称をこどもや若者に考えてもらう案は良いと思う。計画の資料１ページ目に記載されている計画の目的がパッと伝わるような名称をこどもたちに考えてもらえると良いと思う。前橋市がしっかりと考えているということが、市内外の人に伝わり、魅力的な前橋市と映るような視点を持って計画の策定を進めていくと良いと感じた。

**(岩崎委員)**

- ・ 青少年健全育成会でもこどもと関わる事業を行ったりするが、その目的などをこどもにも分かりやすく伝えることは難しい。「条例素案こども向け」のように、こどもにも分かりやすいものを作成していくことは重要だと思う。この場合、大人が見てもこどもに内容を伝えやすいと思う。

**(鳥島委員)**

- ・ 「条例素案こども向け」は素晴らしいと思う。小中学校の児童生徒たちにどのように伝えていくか、学校現場でも活用して説明していただけるとこどもたちも興味を持ってもらえるのではないかと感じた。

**(こども政策課)**

→ 条例については制定された後が大事になってくると思うので、学校やこどもたちにどのように伝えていくか、教育委員会とも話を進めているが、しっかり検討して取り組んでいきたいと思う。

**(木暮委員)**

- ・ こども計画の資料の中で、昨年実施された高校生タウンミーティングでの意見があり「男性の育児休暇取得率を日本一にする」というものがあるが、これからの時代を担う若者の意見なので、こういった目標を達成するための施策がこども計画に入ってくると良いと思う。  
また、条例では第 13 条に事業者の役割があるが、群馬県では「群馬県いきいき G カンパニー認証制度※」というものを実施している。前橋市でもこういった制度を作ってもらえたら良いと思う。

**(本間委員)**

- ・ 資料を見て説明を聞いて、学校でもできることがたくさんあるのかなと感じた。条例の一番最後に「所要の措置を講ずる」とあるのは、罰則ではないと思うがどのような意味なのか伺いたい。

**(こども政策課)**

- 附則のところに記載されている「所要の措置を講ずる」という意味は、状況を見て必要がある場合は、条例の改正などを行ったり様々な制度をつくったりする、という意味である。  
理念条例なので、条例を守れなかったら何か罰則があるというものではない。

**(守山委員)**

- ・ 第 1 回会議の際に「こども」の年齢は何歳とするのか。という質問をしたが、今回の資料を見て「18 歳未満」と明文化されていて良いと思った。
- ・ 昨今は 1 年の半分くらい暑い日があり、こどもを外で遊ばせられない日もある状況。公園が多いといっても暑すぎて十分に遊ぶことができない。幼児期の教育は遊びの中で学ぶことが多く、体を動かす遊びは幼児の運動能力を伸ばすことにも繋がる。暑い日でものびのびと遊べる屋内施設があると良いと思う。栃木県壬生町にあるおもちゃ博物館のような屋外でも屋内でも遊べる施設があるとありがたい。  
こどもが住みやすいこどものまち前橋になると良いと思った。

**(石川委員)**

- ・ 「条例素案こども向け」について「より良い条例を作るためみんなの意見を聞かせてください」とあるが、小学生くらいだと何を言ったら良いのか分からないのかなと思う。先生などから上手く説明してもらえたら意見が出やすくなるのではないかなと思う。
- ・ こども計画骨子案資料には事業例が多く記載されているが、前橋市として強みや自慢できるものなど、記載方法も工夫してアピールできたら良いと思う。

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>(高橋委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条例素案に関しては、前文が入ったことで、全体が柔らかくなったと感じる。高校生ワークショップのユーチューブを見て、堅苦しい感じではなく、和やかな雰囲気の中かで実施されたことが伺えた。こどもの参加する権利を推進していく流れの一つとして大きな意味があると感じた。</li> <li>・ こども計画骨子案を見て、PDCAサイクルにあるように見直しを行い反映させながらスピーディー感をもって進めていく必要があると思う。</li> </ul> <p>(佐藤委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条例素案の前文について、高校生が考えた文章を取り入れる手法は珍しいのではないか。こどもたち自身の言葉を一番最初に持ってくることは勇気がいることだと思う。</li> </ul> <p>(こども政策課)</p> <p>→ 条例前文に高校生の言葉を入れるという取組は、前橋市としては初めてである。</p> <p>(佐藤委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもを真ん中におく社会は、こどもの成長に関していろいろな施策があり、これからどのように取り組んでいくかが重要で、大きな課題でもある。資料にPDCAサイクルをしっかりと回していくという記載があるが大きな覚悟を感じられる。「絵に描いた餅」とならないよう応援できるところは応援していきたいし注目して見ていきたい、ぜひ頑張ってもらいたいと思う。</li> </ul> |
|     | <p><b>3 閉会（こども政策課）</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 参 考 | <p><b>※群馬県いきいきGカンパニー認証制度</b></p> <p>育児・介護と仕事との両立、職場における女性の活躍推進、従業員のワークライフバランスの推進等に取り組む県内事業所を認証。</p> <p>(メリット)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業のイメージアップ</li> <li>・ 認証マークの付与</li> <li>・ 求人や面接会などで働きやすい職場であることをPR</li> <li>・ 県が発注する公共工事や物品調達における入札参加資格での加点 など</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |